



生活クラブ風車



夢風News

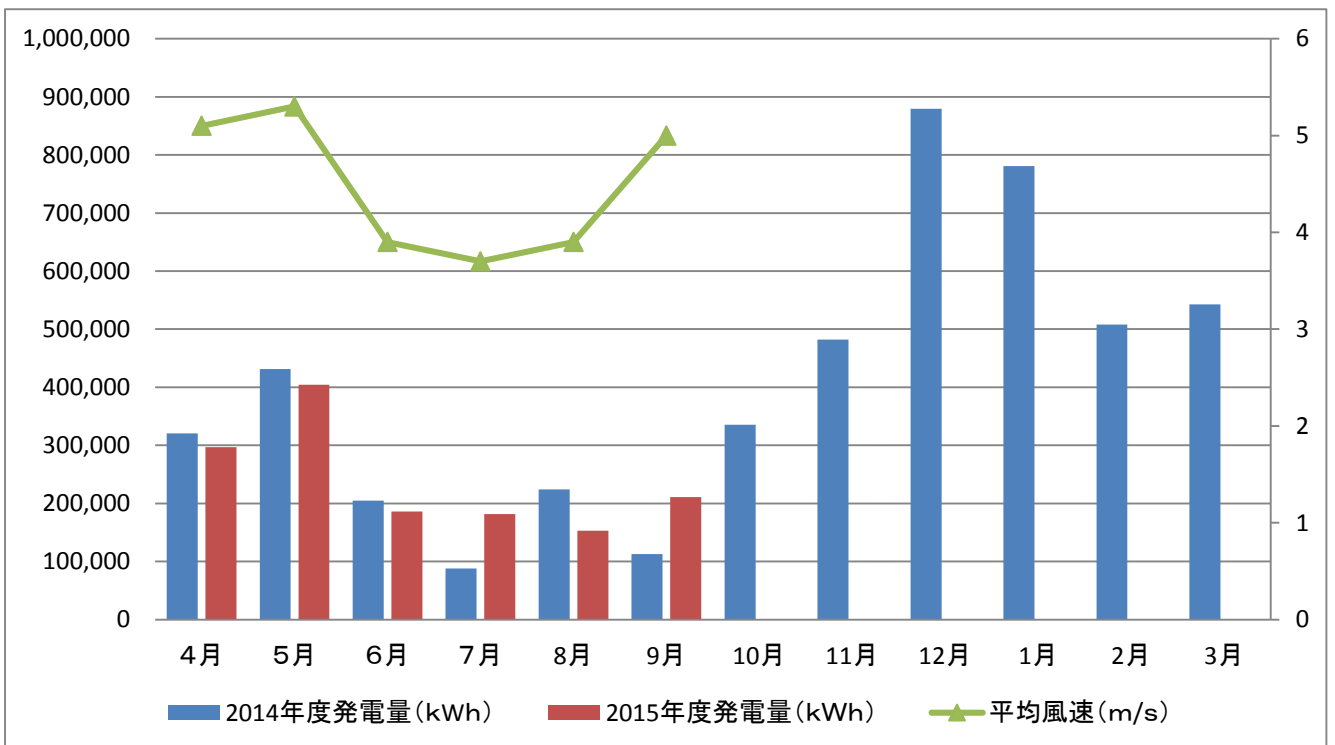
Vol.40

●発行 2015. 10. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2015年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	296,695【92.6%】	5.1	20.7	10月			
5月	404,165【93.7%】	5.3	27.3	11月			
6月	185,870【90.7%】	3.9	13.0	12月			
7月	181,669【206.7%】	3.7	12.3	1月			
8月	153,120【68.4%】	3.9	10.3	2月			
9月	210,921【187.2%】	5.0	14.7	3月			



- 9月は、定期点検やブレード補修などによる運転停止があり、稼働率が81.3%と低くなりました。昨年は東北電力の要請による解列が6日あった為、発電量の前年比は高くなっています。
- 風車のブレード（羽根）の先端は、時速200Km近い高速で回っている為、砂や埃によって細かい傷がつきます。また、落雷によっても傷がつきます。冬が来る前に、ブレードの補修を行いました。

■にかほ市と生活クラブ連携推進協議会主催によるデポーにかほフェアを開催しました■



にかほ市と生活クラブとの交流を広げ連携を高めていくために、今年10月8日（木）9日（金）10日（土）の3日間、東京、神奈川、千葉の生活クラブの全デポーで「にかほフェア」を開催しました。

にかほ市のハタハタやいちじくの加工品やうどん、日本酒、海産物お菓子などの特産品18品目を販売すると共に、にかほ市より13名の方々をお招きし、東京、神奈川に分かれて交流を行いました。交流の様子をご紹介します。

生活クラブ東京は、伊藤製麺所の伊藤さん、四つ葉ネットワークの加藤さん、芹田営農組合の遠藤さん、ねむの丘の佐々木係長、にかほ市役所の企画課・佐々木課長、農林水産課の齋藤さんを迎えて交流を行いました。1日目は、世田谷区の経堂にある生活クラブ東京本部で、生活クラブ館の子育て広場“ぶらんこ”、クッキングスタジオBELLEの見学と、林常務による生活クラブ東京の事業と運動についての学習会を行いました。



左より林常務、佐々木課長、齋藤さん、遠藤さん、佐々木係長

2日目は、環境政策委員会で参加者の皆さんと一緒に、伊藤さんのタラーメンの新しいスープと麺の食味評価を行いました。午後からは、2つの班に分かれて、せたがや、町田、石神井、西東京デポーで、環境政策委員とデポー政策委員、ワーカーズと共に、フロアで特産品のアピールを行いました。

3日目は東村山デポーで、学習交流会を行いました。まず、田中副理事長より、生活クラブ風車建設とこの間のかほ市との取り組みについて振り返り、佐々木課長よりにかほ市についてのご説明を頂きました。参加者からは、「芹田の加工用トマトが生活クラブの消費材になると聞いてとても嬉しい」「にかほにグッと親近感がわいた」などの声がありました。



東村山デポーでの交流の様子

生活クラブ神奈川は、三浦米太郎商店の三浦さん、でんべいかれい生産グループの渡辺さん、芹田自治会の荒川会長、芹田自治会婦人部の桜井さん、にかほ市役所の総務部・齋藤部長、企画課の越川さん、観光課の池田さんを迎えて交流を行いました。

1日目は、(株)オルタフーズの小田原工場を見学しました。その後、中華まんの試食、戸田副理事長より生活クラブ神奈川の活動、半澤専務より生活クラブのエネルギー政策の学習会を行い、更に小田原センター屋上の太陽光発電所を視察しました。



オルタフーズ小田原工場で蒸したての中華まんを見る参加者



大丸デポー

2日目は、2班に分かれて、宮前平、相武台、みたけ台、大丸デポーで、環境政策委員、デポー運営委員、ワーカーズと共に、にかほの産物とにかほ市のアピールを行い、地域の組合員の方たちと交流しました。みたけ台、大丸では、夢風酒の取組のアピールも兼ねて蔵元の販売窓口の(株)岡永の立田さんが参加し(株)飛良泉本舗の日本酒2種類の試飲を行いました。また、夢風の運転管理、メンテナンス

を担っている市民風力発電(株)より、奥原さん、原田さん、松倉さん3名の方にも10月9、10日の両日ご参加いただきました。

2日目にオルタ館で開催した交流会では、五十嵐理事長、城田副理事長、環境政策委員会メンバーに加え、神奈川の野菜生産者である大久保さん、豆腐生産者の小林さん、漬物生産者の中村さん、冷食生産者の山崎さんが参加し、にかほの生産者と消費材づくりの交流も行いました。



3日日も、2班に分かれて、緑園デポー、ちがさきデポーでアピールを行いました。ハッピーの「あんべ」は、にかほの方言で「おいで」「来てね」という意味だそうです。「あんべいい」という言い方をする時は、塩梅が良い、様子がよいという意味だそうですよ。



緑園デポー

生活クラブ千葉のデポーでは、環境委員が中心となり、夢風ブランドに向けて取り組んでいる「鱈しよっつる」のアピールを行いました。鱈しよっつるを使ったお料理の試食とアンケートを行い、今後の取組に活かしていくとの事です。

今年2回目となるデポフェアは、お天気にも恵まれ、おおぜいの組合員と直接顔を合わせて交流することが出来、にかほ市や生活クラブ風車を知ってもらうとても良い機会となりました。

■ 電力小売り自由化に向けた学習会を行いました ■

2016年4月より一般家庭も電気を選べる電力の自由化が始まります。9月20日、首都圏4単協リージョナル自然エネルギー推進プロジェクトで「国のエネルギー政策と電力小売自由化に向けた動き」というテーマで学習会を開催しました。講師に㈱エコサポートの船津寛和氏をお迎えし、2016年4月より小売完全自由化に向けての制度設計の進捗状況と課題についてお話を伺いました。特に、船津氏が課題として挙げられたのは、消費者が電気を選択するために不可欠な電源構成の表示の義務化をすすめるべきという事と、もう一つは、FIT制度（固定価格買い取り制度）をFIT電源の紐付けができなくなってしまうように見直そうという動きです。

電力小売り自由化の目的は、これまでは地域ごとに競争の無い独占で事業を行ってきましたが、消費者が電気を選べるようにすることで、事業者同士の競争が生まれ、サービスの向上を期待するものです。電力の自由化では、私たち消費者の役割がとても大切になります。自然エネルギーの電気を選んで使うことが出来るような制度になるようしっかりと目を凝らしていきましょう。

風車Q&A

Q：生活クラブ風車「夢風」のお隣に別法人の新しい風車が1本建ちました。

すると、あれっ！お隣同士なのに風車の向きがいつも逆向きになっている！どうして??

A：生活クラブ風車は、ダウンウィンドローター方式と言って、ローター面（羽面）がタワーの風下側になっています。この方式は、海から吹き上げる風を効率的に捉える事ができるため発電効率が上がるという事です。

また、風車は風向計のデータを読み取り、風を捉える方向に自動でローターの向きを回転させて

います。ダウンウィンドローター方式は、風向風速計をローターの前方に設置することが出来、乱れの無い風向データが得られるため、風向の変化に対する追随性が高くなり、主軸や増速機へかかる荷重も抑制することが出来ます。

私たちが、良く目にする風車はアップウィンドローター方式でローターがタワーの風上側にあるものが多く、夢風のお隣の風車もこの方式です。ですので、同じ方向から風を受けていても、向きが逆さまになっているのです。



写真は芹田自治会の荒川会長より頂いたもので、夢風に大きな虹がかかっています。右が新しく建った別法人の風車です。